

I 目標についての意見

【現行計画】

誰もが安心して健やかに暮らすことのできる 『**住みよいいばらき**』
 誰もが個性や能力を発揮し、主体的にいきいきと活動できる 『**人が輝くいばらき**』
 競争力ある元気な産業が集積し、交流が盛んな 『**活力あるいばらき**』

- 具体的な目標は、政策に書き込んで行けば良い。表に出る言葉はギリギリ集約させる必要がある。
- 未来を支える子どもたちを育てる「人づくり」が、一番大切。
→ 目標の順番は、「人」、「活力」、「住」が良い。
- 「人」は文化・歴史、教養、人の心ということで非常に重要。産業、科学といった「活力」、暮らしや環境の「生活」と併せて柱を3つとし、相互に関わり合うということで良い。

II 将来像についての意見

【人が輝くいばらき】

- 地域に根差した郷土愛を育てるようなものが必要。
- 幼い頃から心を育てる、心を鍛える教育をすべき。
- 人間としての教養、魅力、技術を含めた総合力を高めていく。
- 子どもを育てることで大人も育つ。→ 素敵な茨城人になる

【活力あるいばらき】

- 茨城のものづくりの技術力は全国に通用するものである
- 茨城の食材は世界トップクラスの評価を受けている。
- 「科学力」、「創造力」、「イノベーション」というキーワード。
- 「海外で稼ぐ(輸出・海外進出・インバウンド)」ことがポイント。

【住みよいいばらき】

- 茨城は住むと住みやすくていいところ。茨城の魅力の情報発信を。
- 茨城県は災害に強くて長く安心して暮らし続けられる県。
- 一緒に学び合い、支え合う横のつながりが大切。
- 子どもと高齢者がうまく混ざるといい社会ができる。地域で育てる、地域で見守る社会づくりが必要。

「人が輝く元気で住みよいいばらき」の実現

方向性(目標と将来像(案))

【目標①】 『人が輝くいばらき』

【将来像(案)】

- 学校・家庭・地域が一体となって次代を担う子どもたちの『知・徳・体』を育てています。
- 互いに尊び高め合いながら、誰もがいきいきと活躍できる社会が形成されています。
- 文化芸術・スポーツなどを通じて、健康で明るく心豊かな人生を送ることができています。

【目標②】 『活力あるいばらき』

【将来像(案)】

- 日本の経済をリードする革新的技術を生み出す環境が整っています。
- 企業の立地が一層進むとともに、持続的に雇用を生み出す強靱で多様な産業が育っています。
- 高い収益性が確保され、若者にも魅力のある農林水産業が育っています。
- いばらきの魅力や強みが広く認められ、多様な交流が国内外に広がっています。
- 県内企業の海外展開や県産品の輸出、外国企業による投資が促進され、本県が活性化しています。

【目標③】 『住みよいいばらき』

【将来像(案)】

- 誰もが適切な医療・保健・福祉サービスを受け、子どもが健やかに育ち、高齢者に安心な環境が整っています。
- 地域社会のつながりが確保され、誰もが快適に日常生活を送ることができる生活環境づくりが進んでいます。
- 生活の安全がしっかり確保され、安心して暮らし続けられる社会づくりが進んでいます。
- 豊かな自然を守り、上手に活かしながら、環境と調和した生活を送ることができています。

※「将来像」について、上記のように政策の柱立てに応じて分割記載するか、1つの文章にまとめるのかどうかについては、今後の部会で検討いただく。